

けいさいしゅいちらん
掲載種一覧 03

はじめに 04

おくにっこう しつげん
奥日光の湿原 06

おくにっこうぜんたいす
奥日光全体図 08

おくにっこう しつげん
「奥日光の湿原」エリア 09

おくにっこう しつげん さんさく
「奥日光の湿原」散策マップ 10

せいぶつたようせい
生物多様性 11

おくにっこう
奥日光いきものフィールドノートについて 15

さんさく ふくそう
散策の服装・もちもの 16

おくにっこう
奥日光いきものカレンダー 17

ちゅうい
フィールドマナーと注意 19

せつめい
いきもの説明 20

メモ 54



春



アカヤシオ	20
ノビタキ	21
オオジシギ	22
アズマヒキガエル	23
オオルリ	24

夏



エゾハルゼミ	25
ワタスゲ	26
カッコウ	27
ザトウムシ	28
ホザキシモツケ	29
モウセンゴケ	30
アサギマダラ	31
ノアザミ	32
ミヤマクワガタ	33
アキアカネ	34
バイカモ	35
ツマグロヒョウモン	36
オオハンゴンソウ	37

秋



リンドウ	38
カワマス	39
ズミの実	40
カエデのなかま	41
ミズナラのドングリ	42

冬



オオワシ	43
キンクロハジロ	44
セツケイカワゲラ	45
いろいろなふゆめ	46

通年



ニホンザル	47
ホンドキツネ	48
ニホンジカ	49
アカゲラ	50
ノスリ	51
マガモ	52
どうぶつのあしあと	53

はじめに

私たちが暮らす栃木県には、平野部の田んぼや雑木林などの里地・里山、北西部に連なる男体山や白根山をはじめとした2,000mをこえる高い山々、鬼怒川や那珂川を代表とした数多くの河川、戦場ヶ原や渡良瀬遊水地といった湿原など、いろいろな自然環境があります。

そして、それぞれの環境にはそこを好む生き物たちがすんでいて、栃木県全体では17,000種類をこえる数多くの生き物たちが見つかっています。

そんなたくさんの生き物たちがいて、つながりあっていること（生物多様性と言います）で豊かな自然が作りだされ、そのおかげでわたしたち人間も生きていられるのです。でも、普段の生活の中では、なかなかそのことには気がつかないかもしれません。

最近、たくさんの生き物が絶滅して生物多様性が失われてしまうことが心配されています。みんなから気持ち悪いと嫌われてしまう生き物も含めたあらゆる生き物のつながりで自然はできているので、絶滅によって生き物が減ってしまうことは、その自然がこわれてしまうことにつながるのです。

生き物のつながりがなくなっていく原因にはいろいろありますが、そのひとつは自然と人とのふれあいの機会が少なくなり、いろいろな生き物について興味をもつ人が減ってしまったことがあげられます。

「この冊子」は、もう一度あなたの目で生き物同士のつながりを見つめてもらうことを目的としています。

ぜひ、これを手に多くの奥日光の生き物と出会い、そのふれあいを通して、生き物たちのつながりを感じてください。生き物たちとの出会いが、あなたが自分の身の回りにあふれる命たちに目を向けるきっかけとなり、そして、いつか生物多様性を守ることに繋がっていくのです。





奥日光の湿原概観

栃木県の北西部に位置する奥日光。いろは坂より上の地域を指し、標高約1,300mの中禅寺湖から標高2,000mを超える山々まで地域内の高度差が大きいこと、森林や湖沼・河川・湿原・草原など多様な環境があることがあいまって、多くの動植物が生息・生育しています。

この奥日光にある湯ノ湖・湯川・戦場ヶ原・小田代原をあわせた260.41haが「奥日光の湿原」として平成17年11月にラムサール条約湿地に登録されました。

ゆのこ 湯ノ湖

三岳の噴火によって作られた周囲約3kmの堰止湖です。冬にはカモの仲間などの水鳥が多数渡来します。





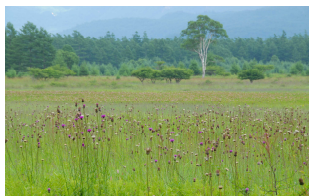
ゆかわ 湯川

湯ノ湖の水が湯滝として流れ落ちて戦場ヶ原を経由して中禅寺湖へと注ぐ川。全長11.2kmと短い川です。

オオルリやマガモといった河川・溪流を好む鳥たちやカワマスなどの生息場所となっています。

せんじょうがはら 戦場ヶ原

男体山の噴火によってできた堰止湖が埋まってできた中間湿原。ワタスゲなど多くの湿原性の植物が生育し、夏には南から渡ってくるオオジシギやノビタキなど湿原や草原を好む鳥たちが子育てをします。



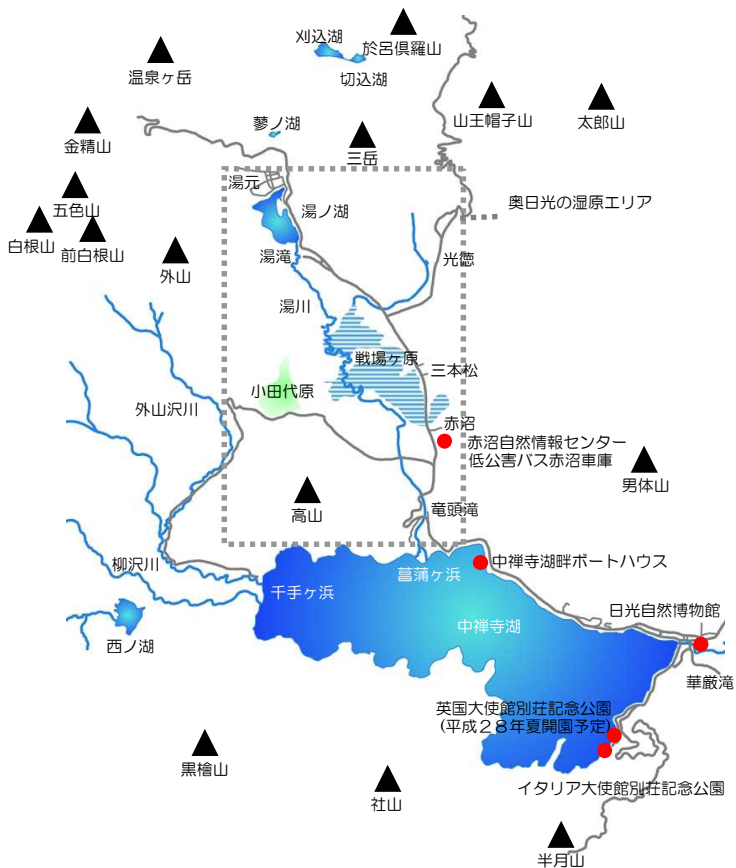
おだしるがはら 小田代原

戦場ヶ原のとなりにあります。戦場ヶ原と成り立ちは同じですが、乾燥化がすすみ草原的な環境へと移行してきています。

ホザキシモツケやノアザミ、リンドウなどの多くの植物が育成しています。

※ラムサール条約

正式な名前は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。国際的に重要な湿地とそこに生息・生育する動植物を守ることを目的としたものです。「奥日光の湿原」が登録されたことは、その環境を損なわないようにみんなで守り、賢く利用し続けていくことを世界に約束した、ということの意味します。



「奥日光の湿原」エリア



せいぶつたようせい ～生物多様性ってなんだろう？～

ちきゅうじょうには3,000万種類をこえるといわれるほど多くの生きものが生息・生育しています。それぞれの環境にあった生き物たちが支えあって生態系をつくり、豊かな生態系が地球の自然環境を支えています。

生物多様性とは、それらの生き物たちの「個性（違い）」と「つながり」のことで、「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」の3つの言葉で説明できます。



- 「生態系の多様性」は、森林・草原・湿原・河川など色々なタイプの自然環境があり、それぞれの地域には、その特性に応じた生態系ができあがっています。
- 「種の多様性」は様々な種類の生き物が生息・生育していることです。
- 「遺伝子の多様性」は同じ種類の生き物でも、生息・生育する場所により様々な違いがあるということです。

～ 私たちの暮らしを支える生物多様性～

私たちの暮らしに必要な水や食料は生物多様性に支えられていますし、薬の多くは生き物に由来するものです。さらに、さまざまな生き物の形や機能などを応用することでも豊かな暮らしを獲得してきました。こうした物質的な恵みに加えて、豊かな自然環境からは文化的・精神的にも恵みを受けているのです。

そして、何よりも様々な生き物たちがつながりあって生態系を支え、水やいのちの循環、土壌の形成や保持など自然環境の維持や気候の変化を和らげる働きは、人間を含むすべての生き物が生きていくための基本なのです。



~生物多様性が危ない~

いま おお い もの ぜつめつ
今、多くの生き物が絶滅しようとしています。

おお い もの ぜつめつ さまざま い もの びみょう
多くの生き物の絶滅は、様々な生き物たちがつながって微妙なバ
ランスの上^{うえ}に成り立^たっている生態系^{せいだいけい}が壊^{こわ}れてしまうこととなり、いず
れ私^{わたし}たちのくらしにも悪い影響^{わる えいきょう}を与える^{あた}ことが心配^{しんぱい}されています。

○乱^{らん}かくや開^{かい}はつ

か ど ほかく さいしゅう だいきほ かいはつ こたいうすう せいそくかんきょう
過度^{かど}な捕獲^{ほかく}・採集^{さいしゅう}、大規模^{だいきほ}な開発^{かいはつ}などにより個体数^{こたいうすう}や生息環境^{せいそくかんきょう}が
減^{げん}少^{しょう}しています。

○里^{さと}地^ち里^り山^{やま}の荒^{こう}廃^{はい}

むかし ひと かが ゆた せいだいけい だも さとち さとやま ひと く
昔^{むかし}から人^{ひと}が関^かわり豊^{ゆた}かな生態系^{せいだいけい}を保^{たも}ってきた里地里山^{さとちさとやま}が、人^{ひと}の暮^く
らしの^{へん}変^か化^かに伴^{ともな}った手^{てい}入^いれ不^ふ足^{そく}により自然^{しぜん}の質^{しつ}が低^{てい}下^かしています。

○外^{がい}来^{らい}種^{しゅ}による生態系^{せいだいけい}のかく乱^{らん}

ちいき い もの ち こ
その地域^{ちいき}にはいなかった生き物^{いもの}が持ち込まれることで、もともとそ
の地域^{ちいき}に暮^くらす生き物^{いもの}たちが長^{なが}い時間^{じかん}をかけて創^{つく}りあげてきた
生態系^{せいだいけい}が乱^{みだ}されています。

○文^{ぶん}明^{めい}活^{かつ}動^{どう}が原因^{げんいん}と考^きえられる気^き候^{こう}の変^{へん}動^{どう}

きんねん きゅうげき へいきんきおん じょうしょう かんきょう へんか よわ せいだいけい
近年^{きんねん}の急激^{きゅうげき}な平均^{へいきん}気^き温^{おん}の上^{じょう}昇^{しょう}は、環^{かん}境^{きょう}の変^{へん}化^かに弱^{よわ}い生態系^{せいだいけい}を
中^{ちゅう}心^{しん}に大^{おお}きな影^{えい}響^{きょう}を^{あた}与^かえる可^{かの}能^う性^{せい}が大^{おお}きいといわれています。

～わたしたちにできること～

では私^{わたし}たちはどうしたらよいのでしょうか。すぐにできることはなさそう？そんなことはありません。

みなさん^{みなさん}にお願い^{ねが}したいことは、自分^{じぶん}たちのまわりの自然^{しぜん}に目^めを向^むけて、美^{うつく}しいものやかわい^{かわい}いものばかりでなく、すべての生^いき物^{もの}に関^{かん}心^{しん}を持^もつことです。

生^いき物^{もの}が姿^{すがた}を消^けすということは、私^{わたし}たちにも影^{えい}響^{きょう}のある環^{かん}境^{きょう}の^{へんか}変化^{へんか}がおきるサインです。みんなが自然^{しぜん}に関^{かん}心^{しん}をもつて見^みつづ^{つづ}けることで、自然^{しぜん}が発^{はっ}する小^{ちい}さなサインに気^きづいて、取^とりかえ^{かえ}しが付^つかなくなるま^{まえ}に何^{なに}かできるかもしれません。

そのためにも、いろん^とな時^{とき}・いろん^ばな場^ば所^{しょ}で、いろん^めなとこ^{とこ}ろに目^めを向^むけて、自分^{じぶん}のまわり^{まわり}にいる生^いき物^{もの}たちとどん^{とん}どん出^で会^あってくださ^さい。それが私^{わたし}たちにできる生^{せい}物^{ぶつ}多^た様^{よう}性^{せい}を^{まも}る行^{こう}動^{どう}の第^{だい}一^{いつ}歩^ぽなのです。



■ 奥日光いきものフィールドノートについて

ここで紹介している34種類の生き物は、奥日光の生態系を特徴づける生き物であることや生き物同士のつながりを感じさせることなどを基準に選ばれました。比較的出会いやすいものもあれば、なかなか出会えないものもありますが、この冊子をヒントに探してみましょう。

★観光客に人気、湖川の住人★

マガモ（真鴨）

① 通年

② 発見難易度：★

④ 見られる時期：11月～3月

⑤ 見られる環境：湖川

⑥ 特徴：オスは首が黒、翼はぶらぶらで足は灰色、くちびるは黒い。メスは全身茶色。

⑦ 見つけられる環境：湖川

⑧ ここがポイント！：オスは首が黒、翼はぶらぶらで足は灰色、くちびるは黒い。メスは全身茶色。

⑨ 発見メモ：オスは首が黒、翼はぶらぶらで足は灰色、くちびるは黒い。メスは全身茶色。

場所名	発声
湖川	カッ、カッ
湖川	カッ、カッ
湖川	カッ、カッ

- ① キャッチコピー、種名（漢字名）、キャッチコピーの由来。
- ② 見られる季節（春/夏/秋/冬/通年）の色分け。
- ③ 哺乳類、鳥、昆虫、植物、その他の色分け。
- ④ 発見難易度：星印が多いほど見つけるのが難しいです。（最も多い星の数は3つです）
- ⑤ 見られる時期の目安です。
- ⑥ いきものの仲間分けや特徴が書いてあります。
- ⑦ 見つけられる環境：このページの下に説明があります。
- ⑧ ここがポイント！：特に注目すべきことが書いてあります。
- ⑨ 発見メモ：見つけたいきもののことを記録してください。

見られる環境の説明



しんりん 森林：木が多いところ



そうげん 草原：草が多いところ



しつげん 湿原：湿った地面が多いところ



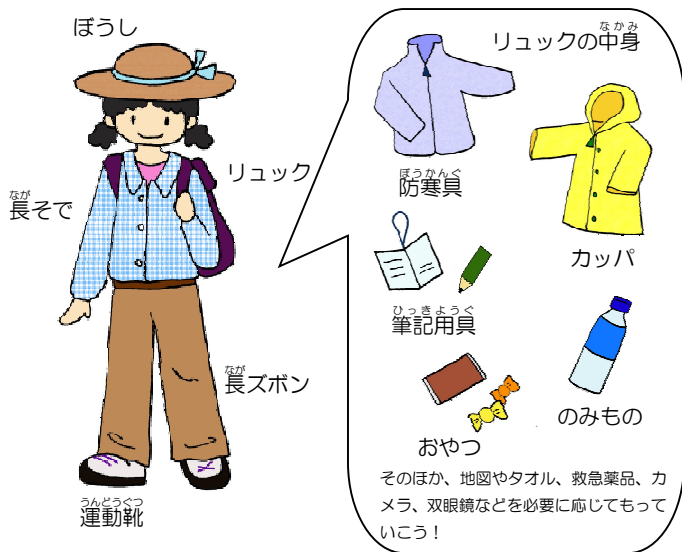
こしょう 湖沼：湖、や沼、池など



かわ さわ 川や沢：小川、水路など

散策の服装・もちもの

奥日光は標高約1,300mをこえる山の上。平地と比べて常に7℃くらいは気温が低い地域なので、服装には注意が必要です。さらに、山の天気は変わりやすいので、雨具などもしっかり準備しましょう。



※紹介した服装の例は夏用です。春・秋でもかなり冷え込む日もありますし、冬は積雪があり、気温は日中でも氷点下の日が多くなります。季節にあった防寒対策をしっかりとって活動しましょう。



おくにっこう

■ 奥日光いきものカレンダー

	1月	2月	3月	4月
アカヤシオ				
ノビタキ				
オオジシギ				
アズマヒキガエル				
オオルリ				
エゾハルゼミ				
ワタスゲ				
カッコウ				
ザトウムシ				
ホザキシモツケ				
モウセンゴケ				
アサギマダラ				
ノアザミ				
ミヤマクワガタ				
アキアカネ				
バイカモ				
ツマグロヒョウモン				
オオハンゴンソウ				
リンドウ				
カワマス				
ズミの実				
カエテのなかま				
ミスナラのドングリ				
オオワシ				
キンクロハジロ				
セッケイカワゲラ				
いろいろなふゆめ				
ニホンザル				
ホンドキツネ				
ニホンジカ				
アカゲラ				
ノスリ				
マガモ				
どうぶつのおしあと				



5月

6月

7月

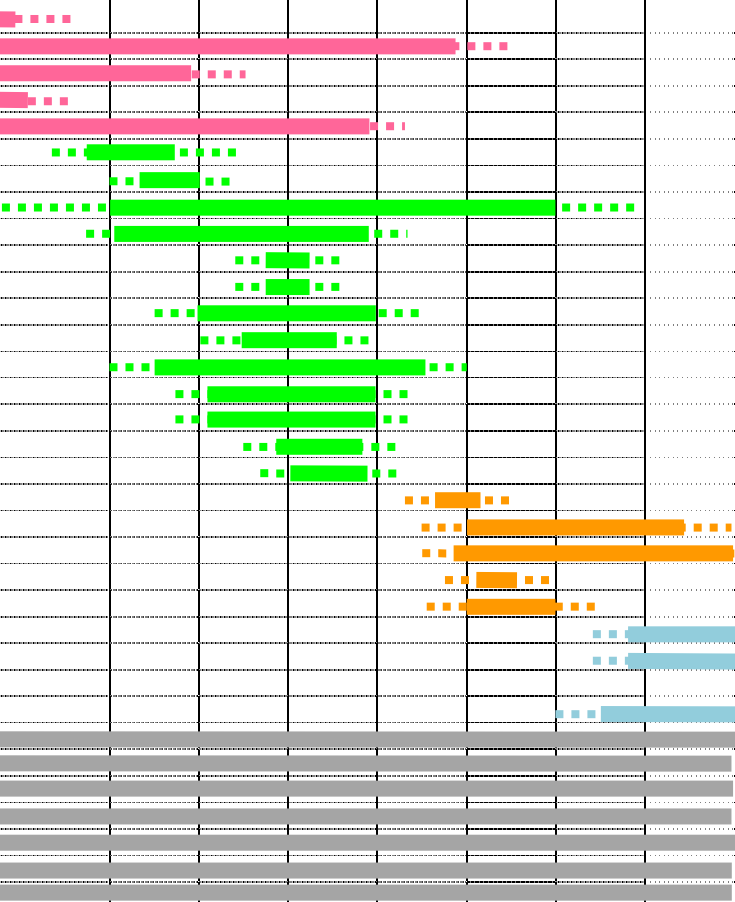
8月

9月

10月

11月

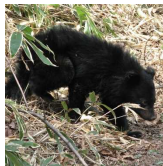
12月



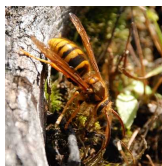
フィールドマナーと注意

多くの動植物が生息・生育している奥日光は、日光国立公園の一部であり、その中でも戦場ヶ原や小田代原は特に大切に守られている特別保護地区です。貴重な自然をいためないように気をつけながら生き物をさがしましょう。

- ゴミは持ち帰る。
- 野生動物に餌を与えない。
- 動植物を採集・採取しない。
- 落葉・小石などの自然物を持ち出さない。
- 歩道や決められた場所以外には立ち入らない。特に湿原は傷みやすい場所なので、木道からは絶対におりない。
- 天候の変化に注意、特に「雷」の時にはすぐに活動を中止すること。
- ツキノワグマやスズメバチの仲間、ツチハンミョウの仲間、ヤマカガシ、ツタウルシなどの危険な生き物に注意すること。



ツキノワグマ



スズメバチ



ツチハンミョウ



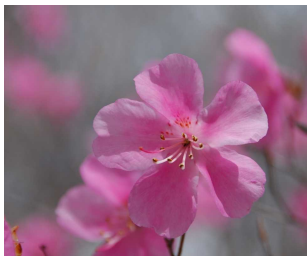
ヤマカガシ

※人間にとっては危険な生き物でも、奥日光の生態系を支える大切なメンバーです。見つけたら刺激しないで、その場を離れましょう。

おくにっこう はる ししや
★奥日光の春の使者★

アカヤシオ (赤八汐)

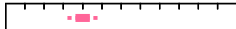
おくにっこう はな さ はる
～奥日光ではこの花が咲くと、春らしくなります～



発見難易度：★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：ツツジ目ツツジ科

大きさ：高さ2～6m

花の色：ピンク

特徴：

- ・落葉低木
- ・葉は花のあとで開き、枝先の同じ所に5枚つく
- ・栃木県の花「やしおつつじ」のひとつ

見つけられる環境



森林

📌 ここがポイント！

春が遅い奥日光、5月初旬のまだ茶色い山々をピンク色に染め上げて春の訪れを知らせる花です。

いろは坂の周辺などの岩場の斜面に多い木ですが、花の蜜を吸いにハチなどがやってくるので、近くで花を見るチャンスがあったら注目してみましょう。

★発見メモ★ ※花を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

春



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

★トップバッターでやって来る草原の歌い手★ ノビタキ（野鶉）

せんじょうがはら いちばんさいしょ すがた あらわ なつどり
～戦場ヶ原に一番最初に姿を現す夏鳥です～

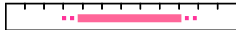
春



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：スズメ目ツグミ科

大きさ：体長 13cm

鳴き声：「ヒーヒョーヒョロリー」

特徴：

- ・オスは頭と背が黒、腰と腹が白で喉は橙色
- ・メスは全体的に茶色
- ・草木のてっぺんなど、自立つとところにとまり、さえずる

見つけられる環境



草原

湿地

ここがポイント！

繁殖のため日本に渡って来る夏鳥です。草地のくぼみに巣を作って子育てをしますが、戦場ヶ原では谷地坊主（スゲの仲間が作る丸い株）を利用することもあるので、歩道歩いていると地面から飛び立つこともあります。

6月に入ると、戦場ヶ原や小田代原では親鳥の近くを幼鳥が飛び交う姿が見られます。

★発見メモ★

※姿で確認したのか、声で確認したのか○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

せんじょうがはら らいじんさま
★戦場ヶ原の雷神様★

オオジシギ (大地鷓)

きゅうこうか とし おばね ひろ かみなり おと だ
～急降下する時、尾羽を広げて 雷 のような音を出します～



発見難易度：★★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：チドリ目ジギ科

大きさ：体長30cm

鳴き声：「ズビャーク」

特徴：

- 全体的に淡い茶色で、ずんぐりした体型
- まっすぐで長いくちばし
- 戦場ヶ原では、早朝や夕方、曇りの日の方が出会えることが多い

見つけられる環境



草原

湿地

 ここがポイント！

はるばるオーストラリアから渡って来て、戦場ヶ原や小田代原で繁殖をする夏鳥です。

日本の本州北部からサハリン南部までの狭い範囲で、局所的にしか繁殖できないので、この鳥が利用する奥日光の湿原は世界的に見ても重要だと言えます。

★発見メモ★

※姿で確認したのか、声で確認したのか○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

春



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

まつ だいす
★お祭り大好き!★

アスマヒキガエル (東蟾蜍)

はる さんらん みずべ あつ おおさわ
～春、産卵のために水辺に集まって大騒ぎします～

春



発見難易度：★★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：無尾目ヒキガエル科

大きさ：体長4～16cm

鳴き声：クッククク・・・

特徴：

- ・ずんぐりした体型で足は短め
- ・体色は黄土色やこげ茶、赤褐色など様々
- ・目の後ろのこぶ(耳腺)から毒を出すので注意

見つけられる環境



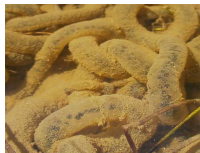
森林

湿地

川や沢

📍 ここがポイント!

4月下旬から5月初旬の数日間、戦場ヶ原の水たまりなどに産卵のために集まり、オスがメスを奪い合う「ガマ合戦」を繰り広げます。他の季節は林の中で地面にいる昆虫などを食べているので、水辺と林の環境が守られないと生きられません。



たまご なが じょう
卵は長いひも状

★発見メモ★

※姿で確認したのか、声で確認したのか〇をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

ようしたんれい びせい も めし
★容姿端麗、美声の持ち主★

オオルリ (大瑠璃)

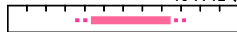
るりいろ うつく すがた くわ な ごえ うつく
～瑠璃色の美しい姿に加え、鳴き声も美しいのです～



発見難易度：★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：スズメ目ヒタキ科

大きさ：体長16.5cm

鳴き声：「ヒーリーリー、…ジジッ」

特徴：

- ・オスは頭から背が青で、顔・喉・胸が黒、腹が白
- ・メスは全体的に茶色
- ・昭和39年に栃木県鳥に指定

見つけられる環境



森林

ここがポイント！

この鳥の仲間は飛んでいる小さな昆虫を上手にキャッチして食べます。鳴き声の美しさからウグイス、コマドリと並び日本三大鳴鳥になっています。

渓流沿いの森林を好むため、オスズメの観察ポイントは華厳滝周辺や湯川沿い。木のてっぺんでさえずる姿が見つかるかもしれません。

★発見メモ★ ※姿で確認したのか、声で確認したのか○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

春



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

しょか がっしょうだん
★初夏のにぎやか合唱団★

エムハルゼミ (蝦夷春蝉)

しょか あたは だいがっしょう ひび
～初夏の暖かい日、大合唱が響きます～

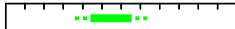
夏



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：カメムシ目セミ科

大きさ：体長 4cm

鳴き声：ミョーキン、ケケケケ…

特徴：

- ・頭と胸が緑色を帯びる
- ・羽は無色透明
- ・鳴き声がカエルに間違われることも…

見つけられる環境



森林

ここがポイント！

幼虫も成虫もストローのような口で木の汁を吸います。一生を通して木に頼って生活しているので、生きていくには森が欠かせません。

夏の始まりを知らせてくれる声なので、初めて聞いた日を記録しましょう。

★発見メモ★

※姿で確認したのか、声で確認したのか○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

きせつはず ゆきげしやう
★季節外れの雪化粧★
ワタスゲ (綿菅)

せんじやうがはらいちめん こなゆき しろ いろど
 ～戦場ヶ原一面を粉雪をかけたように白く彩ります～

夏



発見難易度：★★

見られる時期



仲間分け：カヤツリグサ目
 カヤツリグサ科

大きさ：高さ20～50cm

特徴：

- ・葉は細長い針状
- ・たくさんのオシベで黄色く見える花を4月下旬～5月上旬に咲かせる

見つけられる環境



湿地

 **ここがポイント！**

自立つのは花よりも実です。実についた白くて丸い綿毛が6月中旬頃の戦場ヶ原を一面白く染めます。

初夏の湿原を代表する植物です。



花はあまり自立たない

★発見メモ★

※綿毛を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

とく いわざ し こしょうかい
 ★得意技は自己紹介★
カッコウ (郭公)

な こえ なまえ とり
 ~鳴き声から名前がついた鳥です~

夏



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：カッコウ目カッコウ科

大きさ：体長35cm

鳴き声：「カッコウ、カッコウ」

特徴：

- ・頭から体の上面・胸が青っぽい灰色で、腹は白地に細くて黒い横縞がある
- ・尾は長く、くさび形
- ・翼の先はとがっている



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

見つけられる環境



森林 草原

ここがポイント！

木のてっぺんにとまって大きな声で鳴くので、見つけやすい鳥です。自分では子育てをしないでモズやノビタキ、アオジなど他の鳥の巣に卵を産みつけて子育てをさせる托卵と呼ばれる習性を持つ鳥です。環境の変化によって、托卵相手が減少してしまうと、この鳥も生息できなくなってしまいます。

★発見メモ★ ※姿で確認したのか、声で確認したのか○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

おくにっこう えいが
★奥日光の映画スター★

ザトウムシ (座頭虫)

せん ちりる かみかく なまじい
～「千と千尋の神隠し」の釜爺のモデル～

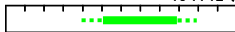
夏



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：クモ綱ザトウムシ目

大きさ：頭胴長 1～2 cm

全幅 10 cm 以上のもの
も

特徴：

- ・8本の長い脚、前をさぐるように歩く
- ・頭胸部と腹部が密着して楕円形の体をしている

見つけられる環境



森林 草原

📌 ここがポイント！

クモのように見えますが、体にくびれがないのでダニの仲間です。夏の奥日光の林の中でよく見かけます。

昆虫や小動物の死骸、キノコなどを食べる雑食性で、「森のお掃除屋さん」です。

目が見えない虫という名がついていますが見えています。

★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

めすら
★いっぱいあるけど珍しい!★
ホザキシモツケ (穂咲下野)

おくにっこう たくさん にほん み ぼしよ
～奥日光には沢山ありますが、日本で見られる場所はわずかです～

夏



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：バラ目バラ科

大きさ：高さ1～1.5m

花の色：ピンク

特徴：

- ・落葉低木 (らくようていぼく)
- ・ヤナギのような細長い葉 (なすがのよう なほそなが は)
- ・ピンク色の小さな花を穂状に咲かせる (いろちい はな ほじょう き)
- ・おしべは花びらよりも長い (おしべ はな はなびら よりもなが)

見つけられる環境



湿地



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

📌 ここがポイント!

おくにっこう せんじょうがはら おだしろがはら は
奥日光の戦場ヶ原や小田代原にはたくさん生えていますが、日本で群生
しているのは本州では奥日光と霧ヶ峰(長野県)、北海道のみという全国的
には珍しい植物です。
めすら しよくぶつ

★発見メモ★ ※花を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

しょくぶつかい にくしょくけい
★植物界の肉食系★

モウセンゴケ (毛氈苔)

むし とら えいよう しょくちゅうしょくぶつ
～虫を捕えて栄養にする食虫植物なのです～

夏



発見難易度：★★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：ウツボカズラ目
モウセンゴケ科

大きさ：高さ15～20cm

花の色：白

特徴：

- ・地面から葉を放射状に出す
- ・葉の表面には粘液を出す毛がある

見つけられる環境



湿地

🖍️ ここがポイント！

虫を捕まえて栄養をとるので、湿原のような栄養が少ない場所でも生育できる植物です。よく見ると葉の表面のベタベタした粘液につかまっている虫も見つけられるかもしれません。

分布域は戦場ヶ原のごく一部、注意して見ていないと見落としてしまいますよ。

★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

ゆうが まい
★ふわふわ優雅な舞★

アサギマダラ (浅葱斑)

は かぜ の と
～あまり羽ばたかず、風に乗ってふわふわ飛びます～



発見難易度：★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：チョウ目

マダラチョウ科

大きさ：羽を広げて9cmくらい

特徴：

- 羽に半透明の水色（あさぎ色）の模様を持つ
- 春と秋に1000km以上の長距離を移動する
- 奥日光から2000km離れたところまで飛んだ記録もある

見つけられる環境



草原

🖍️ ここがポイント！

チョウは種類によって幼虫が食べる植物が決まっています。

アサギマダラの場合、幼虫は身を守るために毒のあるガガイモ科の葉を食べ、毒を体内に貯めます。また、成虫のオスはメスを引き寄せるために、特定の物質を含むヨツバヒヨドリなどの花の蜜を吸います。

★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

夏



ほ乳類



鳥



昆虫



植物

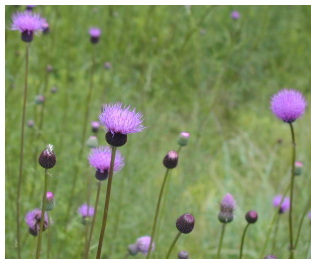


その他

きれい はな
★綺麗な花にはトゲがある★

ノアザミ (野薊)

そうしょくどうぶつ み まち み
～草食動物から身を守るためのトゲを身にまとっています～



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：キク目キク科

大きさ：高さ60～100cm

花の色：赤紫色

特徴：

- ・茎は直立し枝先に花をつける
- ・葉の縁にトゲがあり、羽状に切り込みが入る
- ・茎に白い細かい毛が生えている

見つけられる環境



草原

ここがポイント！

植物がきれいな花を咲かせるのは、虫をよんで蜜をあげる代わりに花粉を運んでもらうための作戦です。

ノアザミの花はとても人気があり、ヒョウモンチョウやセセリチョウの仲間、ハチの仲間など色々な昆虫がやってきて蜜を吸う姿を観察できます。

★発見メモ★ ※花を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

夏



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

いま むかし あこが
★今も昔もこどもの憧れ★
ミヤマクワガタ (深山鋏形)

とうぶ は だ どくとく すがた だいにんき
 ～頭部が張り出す独特の姿が大人気です～

夏



発見難易度：★★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：コウチュウ目
 クワガタムシ科

大きさ：体長オス4～7 cm
 メス2.5～4 cm

見つけられる環境



森林

特徴：

- ・オスは頭部にエラがはったような突起がある
- ・体に金色の毛が生える
- ・足の付け根に黄色の紋がある



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

ここがポイント！

比較的に涼しい場所を好むので、奥日光では目にする機会が多くあります。

幼虫は土に埋もれた枯れ木の中で暮らし、成虫になるまでに2～3年かかるので、良好な環境が長く保たれていないと生きていけません。



はさみ(あご)の小さなメス

★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	

なつ いろど しゅうだん
★夏を彩るオレンジ集団★
アキアカネ (秋茜)

～まだオレンジ色のトンボの群れは、夏の風物です～

夏



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：トンボ目トンボ科

大きさ：体長4cmくらい

特徴：

- ・いわゆる「あかとんぼ」の仲間
- ・夏はお腹がオレンジ色で、秋に近づくにつれて赤くなる



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

見つけられる環境

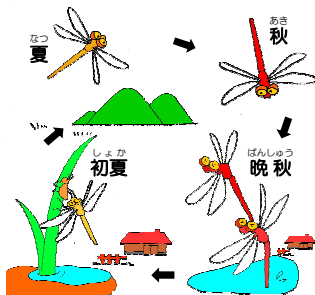


草原

湿地

ここがポイント！

低地で幼虫から成虫になったら、夏の間は涼しい高い場所で過ごし、秋に再び低地に戻って産卵します。田んぼなどの幼虫が暮らす低地の水場とともに、夏を過ごすための奥日光のような高原が生きていくために必要です。



★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	

すいちゅう しる
★水中の白いきらめき★
バイカモ（梅花藻）

～きれいな水に咲くたくさんの白い花は、美しくきらめいています～



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：キンポウゲ目
キンポウゲ科

大きさ：高さ50cm～1m

特徴：

- ・1.5cmの花、基部は黄色
- ・葉は3～4回細かく裂けて糸状で、全体にふさ状
- ・名前は花が梅の花に似ていることからついた

見つけられる環境



川や沢

ここがポイント！

湧き水の流れなど、きれいな水の流れる小川を好みます。
葉は水に沈み、葉の基部から茎を水上にのぼして花をつけますが、流れが早い場所では水中で咲いています。
川のそばにいったら、水中をのぞいてみましょう。

★発見メモ★ ※花を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

夏



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

さいきん み
★最近よく見かけるのはどうして?★
ツマゲロヒョウモン (棲黒豹紋)

きんねんぶんぶんいさ かくだい
～近年分布域が拡大しています～



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：チョウ目

タテハチョウ科

大きさ：羽を広げて5cmくらい

特徴：

- ・オスは山吹色に黒い斑点、後ろ羽が黒く縁取られる
- ・メスはさらに前羽の先の大部分が黒い

見つけられる環境

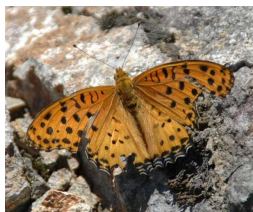


草原

🖍️ ここがポイント！

暖地性のチョウで西日本を中心に生息していましたが、近年生息地が北上しています。元々は生息していなかった奥日光でも、最近には目にする機会が増えてきています。

今後の生息地の変化を知るために、見た場所を記録しましょう。



オスは前羽の先が黒くない

★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月	日	場所名	
月	日	場所名	

夏



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

きた しんにゅうしゃ
★北アメリカからの侵入者★
オオハンゴンソウ (大反魂草)

ほくべいげんざん がいらいしゅ
～北米原産の外来種です～

夏



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：キク目キク科

大きさ：高さ 100～300cm

特徴：

- ・茎は上部で枝分かれます
- ・葉は5～7裂する
- ・夏に6～10cmくらいのおおきな花を咲かせる

見つけられる環境



草原

湿地

ここがポイント！

繁殖力が大変強く大群落を作る外来種で、鑑賞用に日本に持ち込まれました。

戦場ヶ原ではあまりにも増えすぎたために、昭和50年頃からボランティア等の協力も得て抜き取り作業をして、ずいぶん少なくなりました。

しかし、現在でも場所によってはかなりの数が見られるので、まだまだ注意が必要です。

★発見メモ★

※花を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

あき さいしゅう
★秋の最終ランナー★
リンドウ（竜胆）

あき さいご み はな
～秋の最後に見られる花です～

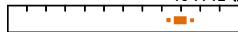
秋



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：リンドウ目リンドウ科

大きさ：高さ60cmくらい

花の色：青紫色

特徴：

- ・釣鐘の形に似た花を茎の先に上向きに咲かせ、花のふちは5つに裂ける

見つけられる環境



森林

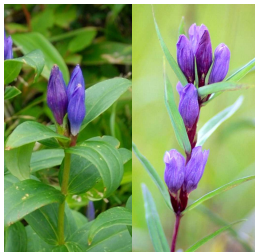
草原

湿地

📌 ここがポイント！

オヤマリンドウはより高いところの草地、エゾリンドウは湿原で多く見られますが、リンドウは林内や林縁に咲きます。

太陽が出ていると花を開くけれど、曇りや雨の日は花を閉じている「お天気花」なのです。



オヤマリンドウ エゾリンドウ

★発見メモ★

※花を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

ゆかわ よ み さかな
 ★湯川で良く見かける魚★
カワマス (川鱒)

にほん ゆかわ ほうりゅう
 ～日本では湯川にはじめて放流されました～

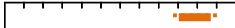
秋



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：サケ目イwana属

大きさ：最大50cmくらい

特徴：

- 背中の虫食い模様
- 体側にルビー色の斑点
- 秋に婚姻色で、腹部が赤くなり、全体が黒ずむ

見つけられる環境



川や沢

ここがポイント！

明治時代まで、奥日光（華厳滝から上流）には魚は棲んでいなかった。現在、奥日光で生息する魚たちは放流魚か、その子孫です。

マスといいますが、北アメリカ原産のイwanaの仲間です。普段は岩や、倒木の陰で生活していますが、秋には産卵のために浅瀬に集まるので観察しやすくなります。

★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

せんじょうがはら にんきてん だいはんじょう
 ★戦場ヶ原の人気店、大繁盛のレストラン★

スミの実 (染み・酢実)

み どうぶつ とり むし だいこうぶつ
 ~この実は動物・鳥・虫、みんなの大好物です~

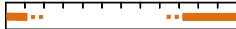
秋



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：バラ目バラ科

大きさ：高さ6~10m

特徴：

- ・花は白いが、つぼみはピンク色
- ・小枝にはトゲがある
- ・切れ込みのある葉が混じる
- ・別名コリンゴ

見つけられる環境



森林

湿地

ここがポイント！

秋には直径5~7mm程度の赤くて丸い実をつけますが、この実は野鳥などにとても人気があります。ツグミの仲間やアトリなどの冬鳥がやってきて実を食べる姿はよく見られますし、時にはテンが木にのぼって食事する姿を見ることがあります。



ズミの実を食べるテン

★発見メモ★

※実を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

おくにっこう あき いろど
★奥日光の秋を彩ります!★

カエテのなかま (楓の仲間)

こうよう やまはだ そ あ
～紅葉シーズン、山肌をきれいに染め上げます～

秋



ウリハダカエテ



コハウチワカエテ

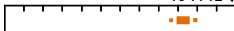


イタヤカエテ

発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：ムクロジ目カエテ科

特徴：

- ・葉が複数に裂けるイメージがあるが、裂けない丸い葉もある
- ・春先にはそれぞれ可愛らしい花を咲かせる
- ・カエテの仲間はすべて、枝や葉が向かい合わせ(対生)につく



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

見つけられる環境



ここがポイント!



森林

日光には日本に自生するカエテ 27種類のうち 19種類があります。この種類の多さと密度の高さが奥日光の紅葉が美しいことの原因だといわれています。種類によって葉の形や色づきが違うので、色々なカエテの紅葉を探してください。

★発見メモ★

※きれいな紅葉を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

あき み
★秋の実アタッカー★

ミスナラのドングリ (水楡の団栗)

あき しだ あだま お
～秋、ミスナラの下ではドングリがこつ～んと 頭 に落ちることも～

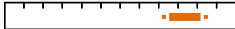
秋



発見難易度：★

見られる時期 (どんぐり)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：ブナ目ブナ科

大きさ：35m

特徴：

- ・山地に生える落葉高木
- ・葉の縁には大型の鋭いきょ歯がある
- ・2～3cmの細長いどんぐり

見つけられる環境



森林

ここがポイント！

奥日光には、ミスナラの木が豊富にあって、秋に実るドングリがツキノワグマやリスなどの哺乳類やカケスなどの鳥類にとって貴重な食料となっています。

ミスナラの林の中では、木の上にクマだな(クマが木に登ってドングリを食べた跡)が見つかることもあります。



木の上のクマだな

★発見メモ★

※ドングリを見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

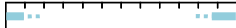
にほんさいだいきゅう わし
 ★日本最大級の鷲★
オオワシ (大鷲)

はね ひろ いじょう
 ~羽を広げたサイズは240cm以上!~

発見難易度：★★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：タカ目タカ科

大きさ：体長オス88cm

メス102cm

鳴き声：「グワッ、グワッ」

特徴：

- 体全体は黒褐色で、翼の一部や腰などの白が目立つ
- くさび型をした白い尾
- 黄色の大きなくちばし
- とにかく大きい



見つけられる環境



湖沼 川や沢

ここがポイント!

極東ロシアで繁殖し、冬鳥として奥日光へやってくる渡り鳥です。中禅寺湖や近くの沢でマスなどの魚を獲って食べています。

中禅寺湖周辺を広く動いているので、見晴らしの良い菖蒲ヶ浜などで探してみましょう。

★発見メモ★ ※姿で確認したのか、声で確認したのか〇をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

冬



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

★身だしなみが苦手！？な潜水名人★
キンクロハジロ（金黒羽白）

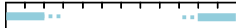
～後頭部に寝ぐせのように見える羽があります～



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：カモ目カモ科

大きさ：体長40cm

鳴き声：「キュッ、ガガア」

特徴：

- ・オスは腹の脇が白、他は黒
- ・メスは全身黒褐色
- ・くちばしは青っぽい灰色で、先端は黒
- ・目は黄色

見つけられる環境



湖沼

ここがポイント！

北国で繁殖し、冬を越すために日本にやってきます。奥日光では湯ノ湖や中禅寺湖などの湖で見られます。貝などを好んで食べていますが、水草も食べます。

潜水に適した体のつくりになっているので、体が重く、飛び立つ時は水面を助走して飛び上がります。

★発見メモ★ ※姿で確認したのが、声で確認したのが○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

冬



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

ふゆ げんき
★冬こそ元気!★

セッケイカワゲラ (雪溪川螻蛄)

さむ い へん むし
～寒くないと生きていけない変な虫です～

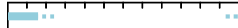
冬



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：カワゲラ目
クロカワゲラ科

大きさ：体長 1 cm くらい

特徴：

- 全身黒色
- 羽はない
- 雪の上を、川の上 流方向に向かって歩く

見つけられる環境



森林 川や沢



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

ここがポイント!

冬に活動できるように適応したことで、敵や競争相手を避けることが出来るようになった、ちょっと変わった虫です。

夏は川底で幼虫の状態で眠っていて、秋に落ち葉を食べて成虫になります。そして、成虫は冬に雪の上で、木片やプランクトンなどを食べて生活します。良く晴れた冬の日、森の中で雪の上をよく探してみましよう。

★発見メモ★ ※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

ふゆ もり ひやくめんそう
★冬の森の百面相★

いろいろなふゆめ (冬芽)

は お あと ふゆ こ め いろいろ かお
～葉が落ちた跡と冬を越す芽が色々な顔にみえます～

冬



発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



特徴：

- ・冬を越して、翌年に葉や花になる芽
- ・夏から秋には作られる
- ・冬の寒さや乾燥に耐えるため、毛やウロコのようなもの(鱗片)でおおわれている
- ・顔をつくる目や鼻、口は水や養分の通り道のあと



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

ここがポイント！

見つけられる環境



森林

冬芽が帽子に、冬芽の近くにある葉痕(葉の落ちたあと)が顔に見えてとてもかわいいです。木の種類によって大きさや形はちがって、表情はいろいろ。冬に歩くと簡単に見つけられ観察しやすいので、気に入りのものを探してみましょう。

★発見メモ★

※お気に入りを見つけた日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	

にっこう どうぶつ だいめいし
★日光の動物の代名詞★

ニホンザル (日本猿)

にっこう おくにっこう やせい せいかつ
～日光といえばサル、奥日光にもたくさん野生のサルが生活しています～

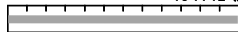
通年



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：サルさる目オナガザル科か

大きさ：頭胴長とうどうちよう 50～60cm

尾長びちよう 7～8cm

特徴：

- ・体からだは灰はいかっ色しよくの毛け
- ・顔かおやお尻しりは皮膚ひふが薄うすいため、血管けっかんがすけて赤あかい
- ・植物食しょくぶつしょくを主しゆとした雑食性ざっしょくせい

見つけられる環境



森林

 ここがポイント！

主おもに木きの芽めや実み、種たね、虫むしなどを食べますが、エサやりや生なまゴミごみの放置ほうちなどで、人間にんげんの食べ物たものの味あじを覚おぼえると、人ひとや店みせを襲おそって食べ物たものを奪うばうこともあります。

動物どうぶつの暮らしくらしを変かえてしまうことも、自然しぜんを壊こわす原因げんいんとなります。野生やせい動物どうぶつには決してエサをやらぬようにしましょう。

★発見メモ★ ※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

★^{すがた}姿は見えねど★
ホンドキツネ (本土狐)

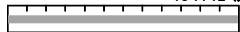
～^{ひるま}昼間はめったに^あ会えません～



発見難易度：★★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：食^{しよくにくちく}肉目イヌ科^か

大きさ：頭^{とう}胴長^{どうちよう} 60～70cm

尾長^{びちよう} 25～40cm

特徴：

- ・体^{からだ}の色は赤^{いろ}みがかった黄色^{あか}
- ・ふさふさとした長い尾^{ながいお}
- ・主にネズミ・ノウサギなどの小^{せう}動物^{どうぶつ}を食べるが、木の実も食^たべる雑食性^{ざっしよくせい}

見つけられる環境



森林

草原

湿地

ここがポイント!

長い鼻^{なが}と大きな耳^{はな}をもっているため、臭^{にお}覚^{みみ}と聴^{しゅうかく}覚^{ちようかく}が発達^{はつたつ}しています。そのため、草^{くさ}むらにひそむネズミもジャンプし、一発^{いっぱつ}で仕留^{しと}めることができます。

夜行性^{やこうせい}であるため、昼間^{ひるま}はあまり見^みかけませんが、木道^{もくどう}の上^{うえ}や遊歩道^{ゆうほどう}で時々^{ときどき}ウンチを見^みかけることで、存在^{そんざい}を確認^{かくにん}できます。

★発見メモ★ ※姿で確認したのか、声で確認したのか○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

通年



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

おお こえ あい さけ
★大きな声で愛を呼びます★
ニホンジカ（日本鹿）

～ラッティングコールはとても大きく、遠くまで響きます～



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：ウシ目シカ科

大きさ：頭胴長 110～170cm

尾長 8～20cm

特徴：

- ・夏は茶色に白い斑点、冬はこげ茶に毛が生えかわる
- ・オスには角があり、毎年春に落とす
- ・発情期（秋）のオスは「フィ～ヨ～」と甲高い声で鳴いてメスヘアピールをする（ラッティングコール）

見つけられる環境



森林

📌 **ここがポイント！**

ササなどの草を主に食べますが、食べ物なくなると木の皮も食べます。奥日光では増えすぎたシカの植生への影響が問題になっています。そこで、木にネットを巻いたり、シカが入らないように小田代原や戦場ヶ原を柵で囲って植生を保護するなどの対策を取っています。

★発見メモ★ ※姿で確認したのか、声で確認したのか〇をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

通年



ほ乳類



鳥



昆虫



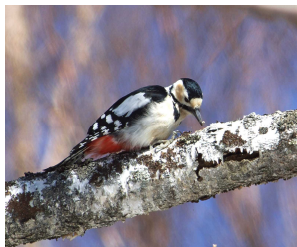
植物



その他

★^{かれき}枯木が^{だいす}大好き★
アカゲラ (赤啄木鳥)

～^{おくにっこう}奥日光ではキツツキが^{かれき}枯木をつつくドラミングを^{よく}良く^き聞きます～



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：キツツキ目^{ちく}キツツキ科^か

大きさ：23.5 cm

鳴き声：キョツ、キョツ

特徴：

- ・^{うわめん}上面は黒で^{くろ}下面は^{しためん}淡黄褐色、^{した}下腹は^{あか}赤い
- ・^{つばさ}翼には^{はくはん}白斑が並び、^せ背の^{ぎやく}逆ハの字の^じ白斑が目立つ

見つけられる環境



森林

ここがポイント！

^{かれき}枯木が多い^{おくにっこう}奥日光はキツツキにとって^{てんごく}天国。
 キツツキが^{しょくじ}食事をした^{あと}跡や^{こそだ}子育てのために^ほ掘った^{あな}穴などが^{あちこち}あちこちで見つかります。



キツツキの^{きやく}巣穴

★発見メモ★

※姿を見た日付と場所を書いてください。

月 日	場所名	
月 日	場所名	
月 日	場所名	

通年



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

しょうどうぶつ おそ そら おうじや
 ★小動物に恐れられる空の王者★
ノスリ (鴞)

なまかま せいぶつがい ちやうてん くんりん もうきん
 ~ほかのタカの仲間とともに、生物界の頂 点に君臨する猛禽なのです~



発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



仲間分け：タカ目タカ科

大きさ：体長54cm

鳴き声：「ピーー」

特徴：

- ・上面が褐色
- ・下面是白っぽいが、腹の脇が濃い茶色で、翼の一部には黒い模様がある
- ・尾の形は扇形

見つけられる環境



森林

草原

湿地

ここがポイント!

タカの仲間^{おも}で主にネズミやモグラ^{た ひら}を食べ、開けた場所^{ばしょ この}を好みます。草原^{そうげん}や湿原^{しつげん}で低い枯れ木^{ひく か き}に止まったり、停空飛行^{ていくうひこう}（空中^{くうちゆう}の一点^{いってん}にとどまる飛び方^{と 飛び方}）をして獲物^{えもの}を探^{さが}している姿^{すがた}が見られます。

★発見メモ★ ※姿で確認したのか、声で確認したのか〇をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

通年



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

かんこうきゃく にんき ゆかわ じゅうにん
★観光客に人気、湯川の住人★

マガモ (真鴨)

いちねんじゅう おくにっこう く みすどり かんこうきゃく えつけ げんいん い
～一年中、奥日光で暮らす水鳥。観光客の餌付が原因とも言われています～

発見難易度：★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



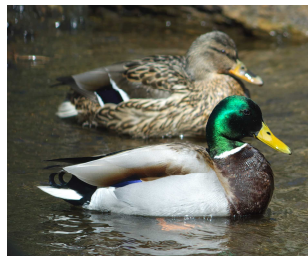
仲間分け：カモ目カモ科

大きさ：体長59cm

鳴き声：「グェツ、グェツ」

特徴：

- ・オスは頭が緑、胸はぶどう色で体は灰色っぽい白。首に白い環がある
- ・オスはくちばしが黄色
- ・メスは全身褐色



見つけられる環境



湖沼 川や沢

📌 ここがポイント！

本来は冬鳥ですが、奥日光では一年中見られます。湯川などで繁殖して、6月を過ぎると親鳥に連れられて泳ぐ子どもたちの姿も見られます。

植物中心の雑食ですが、潜水は苦手なので深いところでは逆立ちして水草を食べます。

★発見メモ★ ※姿で確認したのか、声で確認したのか○をつけてください。

月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声
月 日	場所名		姿・声

通年



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他

きょう きみ めいたんてい
★今日から君は名探偵★
どうぶつのあしあと (動物の足痕)

あしあと さが どうぶつ しら
 ～足痕を探して、どんな動物がいるのか調べるのだ～

通年



ほ乳類



鳥



昆虫



植物



その他



キツネ
(足痕長 4~5cm)



タヌキ
(足痕長 3.5~4cm)



テン
(足痕長 3~4cm)

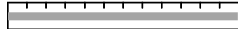


ニホンジカ
(足痕長 5.5cm)

発見難易度：★★★

見られる時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



特徴：

- 足痕として残る指の数はイヌ科のキツネやタヌキは4本、イタチ科のテンなどは5本
- ニホンジカの足痕は2つの蹄の形で先端が細い
- ノウサギとニホンリスは2つの大きな棒型の足痕と小さな丸い足痕がセットになる。

見つけられる環境



森林

湿地

川や沢

湖沼



ここがポイント！

足痕はなかなか出会えない動物たちが、そこに暮らしていることを知る大切な手がかりです。

やわらかい地面や雪の上など、足痕の残りやすさなどところでは注意して探してみましょう。



↑ 進行方向 ↓

※ノウサギとニホンリスは進行方向に対して後足が前、前足が後ろになる。

★発見メモ★

※足跡を見た動物の名前と日付、場所を書いてください。

月 日	場所名	動物名	動物名
月 日	場所名	動物名	動物名

メモ 









～奥日光いきものフィールドノート～

【制作】

株式会社 日光自然博物館

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2480-1

TEL：0288-55-0880 FAX：0288-55-0850

平成28（2016）年2月 第2版発行

【発行】 栃木県環境森林部自然環境課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20

TEL：028-623-3211 FAX：028-623-3212